

科目名		老年看護学演習 I Gerontological Nursing Seminar I		担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次前期	科目区分	専門科目		選択区分	領域必修	単位数(時間)	3(45)	授業形態	演習	科目等履修生	否
	遠隔授業											否
科目目的	老化による身体的・心理的・社会的機能の変化と生活への影響を看護判断の基盤とし、高齢者が持つ複雑な健康問題に対してアセスメントする能力を養う。また、認知症を持つ高齢者と家族のケアマネジメントができる能力を養うとともに、保健医療福祉専門職の連携、効果的なチームアプローチについて探究し、最新の専門的知識に基づき高齢者・家族への看護を実践する能力を養う。											
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老化による身体的・心理的・社会的機能の変化をふまえ、生活への影響についてアセスメントすることができる。</li> <li>2. 高齢者の医療・リハビリテーションの特徴について説明できる。</li> <li>3. 認知症高齢者の看護について、疾患の特徴をふまえて説明できる。</li> <li>4. 保健医療福祉専門職の連携・チームアプローチにおける看護の役割について自己の見解を述べるができる。</li> <li>5. 老年看護学の実践における専門性と自己の課題について述べるができる。</li> </ol>											
成績評価方法(基準)	プレゼンテーション40%、レポート40%、演習に取り組む姿勢20%											
教科書	特に指定しません。											
参考書等	Ebersole P., Hess P. et al (2015): Toward Healthy Aging: Human needs & nursing response. 9th ed, Mosby.											
受講者へのメッセージ	主体的・積極的に参加することを期待します。											
備考												
回	学習項目			学習内容					主担当教員	授業方法		
1回	CGA (Comprehensive Geriatric Assessment) とチームアプローチ①			CGA (高齢者総合的機能評価法) や、CGA を用いたチームアプローチについて考察する。					小松	演習		
2回	CGA (Comprehensive Geriatric Assessment) とチームアプローチ②			CGA のを臨地で用いる際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
3回	老化による身体的機能の変化とアセスメント①			老化による身体的側面への影響と機能の変化や、高齢者の身体機能のアセスメント、高齢者のフィジカルアセスメントについて考察する。					小松	演習		
4回	老化による身体的機能の変化とアセスメント②			高齢者の身体機能のアセスメント、高齢者のフィジカルアセスメントを臨地に適用するための具体的な実践方法について検討する。					小松	演習		
5回	老化による身体的機能の変化とアセスメント③			高齢者の身体機能のアセスメント、高齢者のフィジカルアセスメントを臨地で用いる際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
6回	老化による認知機能・心理的機能の変化とアセスメント①			老化による認知機能への影響や、老化による心理的側面への影響、高齢者の認知機能のアセスメントについて考察する。					小松	演習		
7回	老化による認知機能・心理的機能の変化とアセスメント②			高齢者の認知機能のアセスメントを臨地で用いる際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
8回	老化による社会的機能の変化とアセスメント			高齢者にとっての社会的環境や社会的変化が、高齢者の健康生活にどのような影響を与えるかについて考察する。					小松	演習		
9回	高齢者と薬物動態			高齢者に及ぼす薬理作用の特徴をふまえ、高齢者の薬物療法と看護について考察する。					小松	演習		
10回	高齢者とリハビリテーション①			高齢者にとってのリハビリテーションの意味や、回復期リハビリテーション病棟の役割と特徴、生活リハビリテーションについて考察する。					小松	演習		
11回	高齢者とリハビリテーション②			高齢者の生活リハビリテーションを臨地で行う際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
12回	認知症高齢者の看護①			認知症の診断と最新の治療や、認知症高齢者に用いるアセスメントツールと活用方法について考察する。					小松	演習		
13回	認知症高齢者の看護②			認知症高齢者のアセスメントツールを臨地で使用する際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
14回	認知症高齢者の看護③			認知症の中核症状やBPSDの特徴や、認知症高齢者への看護について考察する。					小松	演習		
15回	認知症高齢者の看護④			Person Centered Care, Validation therapy, Humanitude等、認知症高齢者への非薬物療法について考察する。					小松	演習		
16回	認知症高齢者の看護⑤			認知症高齢者への看護について、臨地で実践可能なアプローチについて具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		
17回	認知症高齢者の看護⑥			Person Centered Careを臨地で実践する際の具体例を発表し、有効性について検討する。					小松	演習		

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
18回	認知症高齢者の看護⑦	認知症高齢者に関わる制度・施策の動向や、認知症看護における今後の課題について考察する。	小松	演習
19回	認知症高齢者の看護⑧	認知症高齢者への看護について演習を行った内容をふまえ、今後、認知症高齢者へのケアにおいて重要と思われることについて、自己の考えを発表する。	小松	演習
20回	End-of-Lifeにおける看護①	高齢者にとっての終末期の特徴や、終末期看護のあり方について考察する。	小松	演習
21回	End-of-Lifeにおける看護②	高齢者の終末期看護を臨地で実践する際の具体例を発表し、より効果的な援助について検討する。	小松	演習
22回	高齢者施設における看護の役割・実践	高齢者施設の現状と課題 高齢者施設における看護の専門性	小松	演習
23回	老年看護とEvidence-Based Nursing	老年看護における根拠とは何か、高齢者に対する根拠に基づく看護とは何かについて考察し、自己の考えを発表する。	小松	演習